

伊達源一郎 いだごういちろう 評論家。明治七年二月十五日島根縣生れ（一八七
一）。筆名樸堂、G・D・生等。同志社卒。昭和八年『東京週報』創
刊、のちジヤパン・タイムス、山陰新報社各社長。

著書『ゴユルキイ』（樸堂名、明治二十五年六月十一日民友社。千葉紫
草譯「チエルカッシェ」所收）、『オイケシ』（大正二年九月十五日
民友社「現代叢書」）、『近代文學』（大正四年二月十五日民友社
「現代叢書」）、『帝國の國防』（大正四年六月十五日民友社「現代
叢書」）、『ロブルズソン』（大正四年八月二十日民友社「現代叢書」）、
『極東の露曲亞』（大正四年九月二十日民友社「現代叢書」）、『從
軍記者の見聞の露戰争裏面史』（内題「從軍記者の語る露戰争裏面史」
合著・新聞之新聞編輯會編、昭和十年五月二十日精華書房）等。

